

平成31年度「現職教育」推進計画

いわき市立勿来第二小学校

<研究主題>

すべての児童が「わかる」「できる」授業づくり
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れて～

1 研究主題設定の理由

新学習指導要領でも、これまで同様「生きる力」の育成を目指すことが示されている。さらに、「生きる力」の育成にあたっては、「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」という資質・能力の三つの柱を、バランスよく実現することが求められている。

児童一人一人が生き生きと学習に取り組み、学級の中で居場所を作ることは、児童一人一人に自己存在感や自己有用感を味わわせるとともに、自尊感情を育て、自己実現を図るために必要である。

これらのためには、児童一人一人が「わかる」「できる」（「わかった」「できた」を実感できる）授業づくりが不可欠である。

一方で、いわき市の小・中学校では、通常学級における「特別な教育的支援を要する児童・生徒」の割合が、3.7%（平成30年度 いわき市総合教育センター）であるとの結果がある。また、経験的に、授業にまじめに取り組んでいるにもかかわらずよく理解できない児童がいることも事実である。

そのためには、教師が児童の状況を的確にとらえ、一人一人を大切に「個に応じた指導」が必要である。そして、この「一人一人を大切に」児童を見ることは、特別支援教育との関連が強いと言える。

＊「特別支援教育」とは、（略）幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。（文部科学省HPより抜粋）

そこで、研究主題を上記のように設定した。

＊「ユニバーサルデザイン」とは、もともと教育の用語ではなく、「できるだけ多くの人が利用可能であるように製品、建築、空間をデザインすること」である。

ただし、ユニバーサルデザインに関しては、次の点を共通理解して研究を進めたい。

- (1) インクルーシブ教育のもとでのユニバーサルデザインとは、特別な支援を必要とする児童のためだけのものではなく、

特別な支援が必要な児童には「ないと困る支援」であり、どの児童にも「あると便利・有効な支援」（佐藤慎二 2010）

であるととらえる。

- (2) ユニバーサルデザインは、授業の「ねらい」を達成するため、授業者の教材研究に基づいた指導の工夫をもとに、すべての児童に「わかる」「できる」授業を行うための考え方・手法であって、手段である。ユニバーサルデザインそのものが万能なのではなく、研究に際して、手段と目的の混同を避けたい。
- (3) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりは、学習指導だけではなく、生徒指導や特別支援教育も含めて検討すべきであって、その土台となるのは各担任の学級経営である。
- (4) 授業におけるユニバーサルデザインは、これまで多くの先生方の手で意識的・無意識的・経験的に実践されてきたものも多くあるはずで、全く新しいものではない。

2 研究の方法

- (1) ユニバーサルデザインの定義とその背景を理解する。
- ① ユニバーサルデザインの定義、およびユニバーサルデザインと特別支援教育との関連
 - ② 先生方を例にした認知方法の意識調査とそれに基づく授業法の工夫の一例
- (2) ふだん意識して（意識していなくても）やっているユニバーサルデザインを考える。
- ① 各自で考える
 - ② 付せんを用いて出し合う（授業や学級内、学校内、その他いろいろな場で思いつくものをできるだけ多く）
 - ③ ②を仲間分けし、「ユニバーサルデザインの視点」を洗い出す。できればここで、本校なりのいくつかの「視点」を設定し、授業研究に生かしたい。
- (3) 「特別支援教育の視点を生かした通常学級での授業づくり（仮）」について、外部講師の講義を聞く。
- (4) 授業研究の予定を決める。
- ・ 一人一授業以上を実施
 - ・ 教科等は自由（むしろいろいろな教科等で）
 - ・ 授業案には「ユニバーサルデザインの視点による手立て」を明記し、それ以外の部分は、できるだけ簡略化
- (5) 授業を通じて研究を進める。
- ・ 市総合教育センター等から外部講師を継続して招聘する。
 - ・ ユニバーサルデザインの視点を取り入れたことにより、学級内の「特別な支援が必要な児童」とその他の児童の学びがどう変わったかを、研究の主眼とする。
- (6) 児童へのアンケート調査を7月と12月に行い、研究を評価するための参考とする。
- (7) 「研究のまとめ」を分担して執筆する。

*参考文献

- ・ 福島大学総合教育センター 紀要第9号（2010年7月）
- ・ 山形県教育センター 研究報告書第80号（2013年3月）
- ・ 小学校時報 No. 807（2018年11月） ・ 生徒指導提要（2010年）